

屏風爛漫

—ひらく、ひろがる、つつみこむ—

2019年4月2日(火)～5月6日(月・祝)

現代の暮らしの中では、ほぼなじみのない屏風。その歴史をひもとけば、絵画である前にまず調度品であり、間仕切りや風よけとして人々のかたわらにあった実用の道具でした。ジグザグになる、自立する、移動できる、といった屏風の性質は、調度品としての使い勝手のよさに通じています。同時に、こうした「もの」としての特徴は、そこに描かれる絵にも影響を与えて、屏風絵ならではの魅力ある造形を生み出してきました。また、多くは大画面である屏風絵は、置かれた場所に意味を加え、独特の空間につくりあげる力を持っています。場をつくる、という点においても機能的な道具といえるでしょう。

この春の展覧会では、屏風の形や機能に注目しながら、その楽しみ方を再発見していきたいと思えます。桃山時代から現代まで、300年にわたる屏風の優品が一堂に並ぶ迫力の展示。静岡県立美術館コレクションを中心とする精選された作品を通して、花開く屏風絵の世界をご堪能ください。

【主な出品作品】

《曾我物語 富士巻狩・仇討図屏風》江戸時代(17世紀) 静岡県立美術館蔵

曾我兄弟による有名な仇討物語を絵画化。同日の昼と夜に富士山の麓で起こった出来事を、屏風の右と左にダイナミックに描き分けます。

《武蔵野図屏風》江戸時代(17世紀) 静岡県立美術館蔵

近世初期に好まれた武蔵野の図。屏風の大画面に、どこまでも広がるススキ野原を情緒豊かに表します。屏風の前に立つと、まさに武蔵野の野原の中にいるような感覚を味わえます。

狩野探幽《一ノ谷合戦・二度之懸図屏風》明暦-万治年間(1657-61) 静岡県立美術館蔵

狩野派の総帥として江戸絵画の本流を作り上げた狩野探幽、稀少な武者絵の作例です。ジグザグの屏風の形を生かして、『平家物語』の合戦シーンを躍動感豊かに描きます。

石田幽汀《群鶴図屏風》江戸時代(18世紀) 静岡県立美術館蔵

49羽の鶴が群れ集う画面、よく見れば5種類の鶴が描き分けられています。鶴は古くから長寿を象徴するおめでたい鳥。金屏風に鶴がひしめく様は、めでたさに溢れています。

伊藤若冲《樹花鳥獸図屏風》江戸時代(18世紀) 静岡県立美術館蔵

静岡県立美術館コレクションの超人気作品、久々の展示です。お見逃しなく！
一途な探求心が生み出した前人未踏の絵画世界を、どうぞお楽しみください。

鈴木松年《神武天皇・素戔嗚尊図屏風》明治22年(1889) 個人蔵

平成から新元号へ、改元をまたいで開催する展覧会。この特別な機会にあわせて、『古事記』『日本書紀』において初代天皇と位置付けられる神武天皇を描いた屏風を展示します。

小林清親《川中島合戦図屏風》(裏面：龍虎図) 明治43年(1910) 静岡県立美術館蔵

武田信玄と上杉謙信による一騎打ちを迫力満点に描きます。裏面には龍虎と竹林の図が描かれた両面屏風。小林清親は幕末の江戸で幕府の役人の家に生まれ、江戸から明治の混乱期を生き抜き画家として身を立てた人。江戸を離れた徳川家に従って、静岡に暮らした時期もあります。

【基本情報】

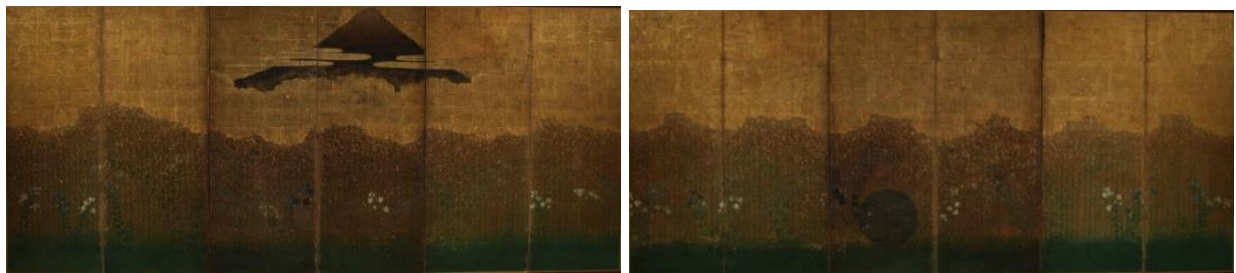
展覧会名	屏風爛漫 ーひらく、ひろがる、つつみこむー
会 期	2019年4月2日（火）～5月6日（月・祝）
開館時間	10時～17時30分（展示室への入室は17時まで）
休 館 日	毎週月曜日（ただし4月29日（月・祝）、5月6日（月・祝）は開館）
観 覧 料	一般800円（600円）、70歳以上400円（300円）、大学生以下無料 ※（ ）内は前売および20名以上の団体料金。 ※収蔵品展、ロダン館もあわせてご覧いただけます。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。
主 催	静岡県立美術館
関連イベント	<p>館長美術講座「屏風は絵なのか道具なのか」 日時：4月21日（日）14：00～15：30 講師：木下直之（当館館長）会場：当館講座室 ※申込不要 先着40名</p> <p>美術講座「屏風日和一展覧会見どころ解説」 日時：4月13日（土）14：00～15：00 講師：石上充代（当館上席学芸員）会場：当館講座室 ※申込不要 先着40名</p> <p>学芸員によるフロアレクチャー 日時：4月7日（日）、4月27日（土）、5月6日（月・祝）いずれも14：00～ 集合場所：企画展第1展示室 ※申込不要 観覧料が必要です。</p>
交通案内	<ul style="list-style-type: none"> ・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分（料金100円） ・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分 ・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分 ・静岡鉄道「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分 ・東名高速道路・静岡IC、清水IC、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分 <p>※バスの運行本数は限られておりますので、あらかじめ時刻表をお調べいただくことをお勧めします。</p>
託児サービス	<p>日曜日、祝日にご利用いただけます。（無料） 時間：10：30～15：30 対象年齢：6ヶ月～小学校就学前 ※お預りできる時間は2時間以内です。 ※ご利用が集中した場合はお受けできない場合があります。</p>
お問合せ	<p>静岡県立美術館 電話. 054-263-5755 ウェブサイト http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp</p>
展覧会担当	<p>石上充代（学芸課）、塚口佑太（総務課） TEL：054-263-5857 FAX：054-263-5742 （学芸課） TEL：054-263-5755 FAX：054-263-5767 （総務課） 静岡県立美術館 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2</p>

【静岡県立美術館「屏風爛漫」展 広報用画像】

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX・E-mailにてご連絡ください。



「曾我物語 富士巻狩・仇討図屏風」江戸時代（17世紀）静岡県立美術館蔵



「武蔵野図屏風」江戸時代（17世紀）静岡県立美術館蔵



「扇面色紙貼交屏風」より左隻
江戸時代（17世紀）個人蔵



狩野山雪「四季花鳥図屏風」江戸時代（17世紀）個人蔵



狩野探幽「一ノ谷合戦・二度之懸図屏風」
明暦-万治年間（1657-61）静岡県立美術館



石田幽汀「群鶴図屏風」江戸時代（18世紀）静岡県立美術館蔵



伊藤若冲「樹花鳥獸図屏風」江戸時代（18世紀）静岡県立美術館蔵



岡本秋暉「孔雀図屏風」江戸時代（19世紀）個人蔵



鈴木松年「神武天皇・素戔鳴尊図屏風」明治22年（1889）個人蔵



小林清親「川中島合戦図屏風（裏面 龍虎図）」江戸時代（17世紀）個人蔵

屏風爛漫展 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

宛先：静岡県立美術館 （担当）学芸課 石上 宛

FAX：054-263-5742 E-mail：webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

【画像ご使用に際してのお願い】

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌を 2 部ご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行・放送予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
E-mail：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：5 cm 四方、など）</small> ：

■画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

- 1-1 「曾我物語 富士巻狩・仇討図屏風」江戸時代（17 世紀）静岡県立美術館蔵（右隻）
 1-2 同（左隻）
 2-1 「武蔵野図屏風」江戸時代（17 世紀）静岡県立美術館蔵（右隻）
 2-2 同（左隻）
 3 「扇面色紙貼交屏風」江戸時代（17 世紀）個人蔵
 4-1 狩野山雪「四季花鳥図屏風」江戸時代（17 世紀）個人蔵（右隻）
 4-2 同（左隻）
 5 狩野探幽「一ノ谷合戦・二度之懸図屏風」明暦-万治年間（1657-61）静岡県立美術館蔵
 6-1 石田幽汀「群鶴図屏風」江戸時代（18 世紀）静岡県立美術館蔵（右隻）
 6-2 同（左隻）
 7-1 伊藤若冲「樹花鳥獸図屏風」江戸時代（18 世紀）静岡県立美術館蔵（右隻）
 7-2 同（左隻）
 8 岡本秋暉「孔雀図屏風」江戸時代（19 世紀）個人蔵
 9-1 鈴木松年「神武天皇・素戔嗚尊図屏風」明治 22 年（1889 年）個人蔵（右隻）
 9-2 同（左隻）
 10-1 小林清親「川中島合戦図屏風（裏面 龍虎図）」明治 43 年（1910）静岡県立美術館蔵（右隻）
 10-2 同（左隻）

※右隻と左隻を並べて掲載する場合は（右隻）（左隻）の表記は不要です。

■プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください。）

5 組 10 名様分 希望します。

[チケット送付先]

ご住所：〒

<広報用画像に関する問い合わせ先>

静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

総務課：054-263-5755

広報担当（総務）塚口／展覧会担当（学芸）石上